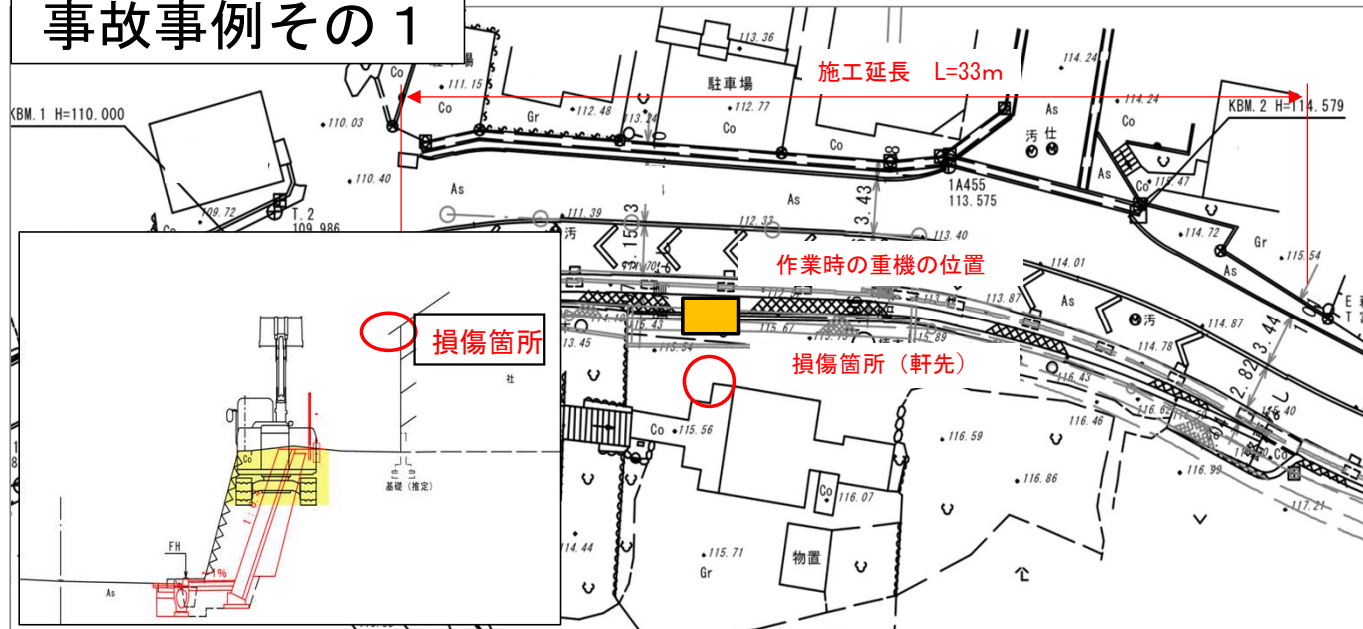


事故事例その1



【事故概要】

既設擁壁の取り壊し作業中、バックホウのアームを旋回した際に、近接する建物の軒先にアームが接触し、軒先の一部を破損させた。

【問題点】

重機の旋回範囲内における支障物の認識が十分でなかった。

【対策】

- ・ 重機の旋回範囲内に支障物が入らぬよう作業前毎に周辺状況を確認する。
- ・ ポール等による旋回範囲内の明示や、架空線への三角旗等の設置などにより注意喚起を徹底する。

